



ネイチャーなら

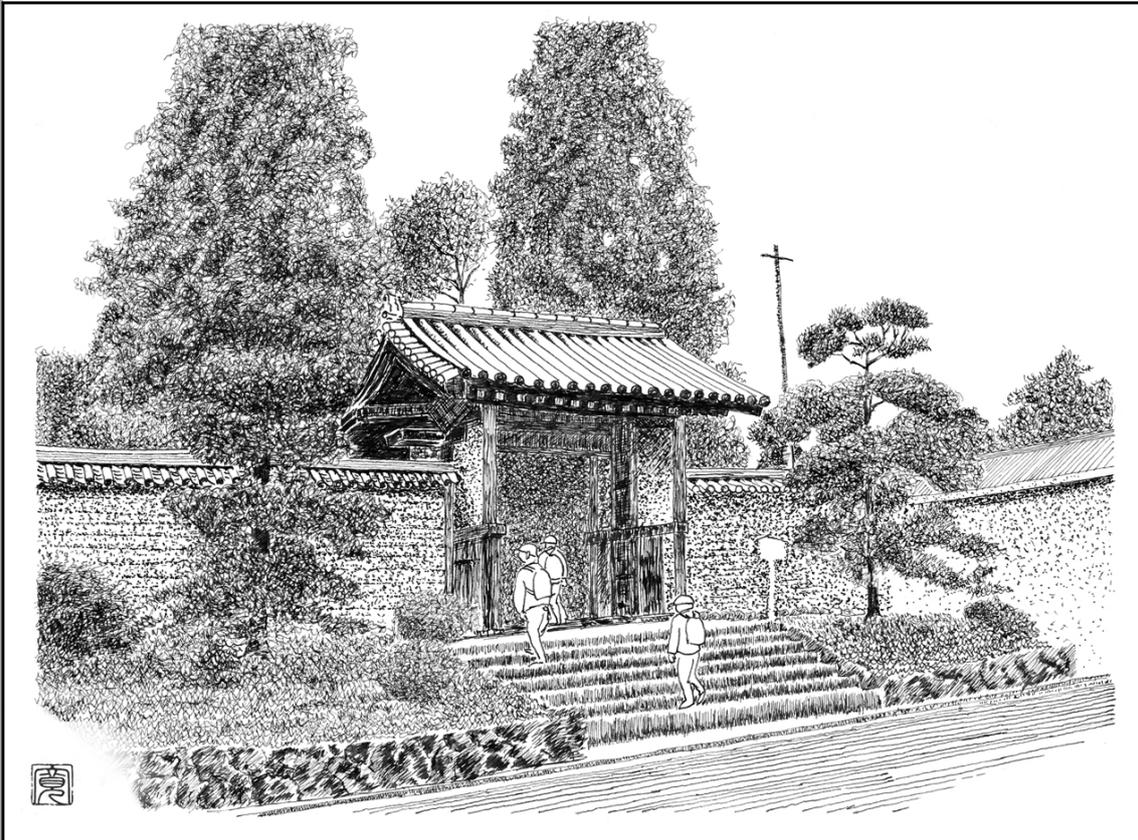
《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行 2012年 7月 1日

7月号・第 126号

奈良・人と自然の会

会長 藤田 秀 憲



◇◇◇◇◇

Contents

◇◇◇◇◇

環境大臣賞受賞……………	①	鳥シリーズ&地域情報……………	⑪
リレー随筆・お元気ですか！……………	②	美味旬感・奈良学&難読野菜名クイズ……………	⑫
イベントレポ1……………	③	自然俳句……………	⑬
イベントレポ2……………	④	癒しの散歩道&ならやま茶論……………	⑭
自然教室チーム便り……………	⑤	青垣春秋……………	⑮
Monthly Repo.ならやま……………	⑥	ならやま景観整備&情報BOX……………	⑯
佐保台元気っ子田植え体験……………	⑦	7月例会案内……………	⑰
里山の今・自然観察レポ……………	⑧	インプリ入門講座&8月例会案内……………	⑱
やさしい昆虫講座⑳……………	⑩	幹事会報告・ペン画に寄せて・編集後記……………	⑲

環境大臣賞 受賞

平成24年度地域環境保全功労者表彰

地域社会の貢献に更なる精進を！

会長 藤田秀憲

「我が国固有の文化的資産である古都奈良の歴史的風土の保全、再生に向け多大の成果を上げている団体」として、奈良県の推薦を受けて、環境省から私たちの長年の活動に対して「地域環境保全に関し顕著な功績があった」と評価をいただき、環境大臣から「奈良・人と自然の会」が「地域環境保全功労者表彰（団体）」を受けることになりました。

会にとって非常に名誉なことで、会員の皆さま方とともに今回の受賞を喜びたいと思います。

同時に受賞を契機に、ますます「自然環境の保全」や「自然環境保全教育の実践」を通じて、地域社会の貢献に精進してまいりたいと思います。



功績内容について（要旨）

歴史的風土の保全のために特に重要な区域である特別保存地区（平城宮跡地区の古都買入地約12.5haについて、荒廃しつつある里山の間伐や植樹等を行いまた放置竹林、笹藪と化した田畑などの里地への復元などに精力的に取り組んでいる。

整備に当たっては、歴史的風土との調

和に配慮するとともに、事前に行う生き物調査の結果に基づいて、その土地に相応しい生態系への誘導を目指しており、毎週木曜日の活動日には毎回30～40人が集まり、近隣住宅地住民が活動を見て参加を希望する人も多いという。地元小学生の環境教育に協力するなど、地域住民との交流も積極的に行われている。

昭和51年度に「環境月間」行事の一環として、「環境保全功労者表彰」の制度を創設（環境庁局部長推薦）。そして、「地域環境保全功労者表彰」は、環境省創立10周年記念として、昭和56年度に創設（都道府県知事、政令指定都市市長推薦）されました。

それまでの経緯は、昭和47年6月、ストックホルムにおいて国連人間環境会議が開催され、我が国の提唱により国連では6月5日を「世界環境デー」と設定。

昭和48年度から「環境週間」、平成3年度からは「環境月間」として全国的に普及啓発活動を展開されました。

表彰式は、6月29日（金）に東京都千代田区隼町の「グランドワーク半蔵門」において挙行されます。藤田会長が、会を代表して出席されます。

本年度の受賞者は、103件（37名、66団体）で、「地域環境保全功労者表彰」を受賞するのは、45件（18名、27団体）です。





リレー随筆

お元気ですか!

「ふるさと」

倉家初枝

ふるさとは 遠くにありて思ふもの
そして 悲しくうたふもの・・・室生犀星

この頃思うのは子どもの頃のこと。

田舎の山で育ち、遊び場は「野・山・川・畑・田んぼ」・・・森や花咲く野を走り回っていました。

- ☆春・川のせせらぎを聞きながらセリ摘み
沢ガニ探し 一面のレンゲ畑で男の子に
混じりタコ揚げ
- ☆夏・川で水あそび メダカ獲り シジミ探し
山では木イチゴを摘み ツワブキの葉で
コップを作り 湧き水をすくいガブガブ
と・・・
- ☆秋・収穫期には稲刈り さつまいも芋掘り
じゃがいも掘りなどなど・・・すぐ食卓へ
- ☆冬・霜柱をザクザクと踏みしめ、氷の張った
田んぼでおたまじゃくしの卵探し。

生まれ育った故郷は、いつも気になる忘れられないところ。故郷を離れて数十年、それでも故郷への思いは断ちがたく、年々、懐かしさがつのります。

世の中全体が大きく変化する中、故郷も変わっています。故郷は懐かしいところではあります。帰るところではなく、今の生活の場が自分の居場所との感を強くしています。

(玄界灘に浮かぶ夢の島が私の故郷です。)

幹事役を卒業して

板橋宏昌

5月12日の総会をもって幹事役を卒業することとなりました。この4年間(会計担当として3年間)、色々皆さまにお世話になったこと大変ありがたく思っており感謝いたします。この間、強烈な印象として残っているのは、奈良・人と自然の会に入会し、はじめて忍辱山の森林整備に行った時のことです。活動の場所は3年前の東海自然歩道コースで、忍辱山円成寺より奈良市内まで歩いたコースの始めの辺りですが、何もわからない時に、新参加者が超ベテランの方とペアーでチームを組ませていただき、鋸の使い方、木の倒す方向の決定、倒し方等々手に手をとって教えてもらうという温かい配慮と、昼飯のときの玉子スープの味は、今も忘れることができません。

ならやまプロジェクトが始まり、もう4年目に入ると思いますが、はじめに自転車道の北側の草刈を行い、環境が一変、散歩に来られる近隣の方からは感謝の言葉もかかるようになったが、そのときから南側に一面に茂る2mを超える笹が大変気になっていた。(今の駐車場の辺りから西側一帯全面) この笹を刈り取ろうといっても、誰も相手にしてくれないので、どんな具合か試そうと鎌で切り込んでみたが、全く刃がたたなかった。しばらくして、ここを刈払機で挑戦し、とうとう全部刈り取ってしまった方が出現した。私はその方とその行為に今でも大変敬服しています。

3年間はらはらしながら会計を担当させていただきました。ならやままでの活動範囲の拡大に伴い、各種経費も増加の一途をたどったが、これら社会貢献事業が評価された結果として、各方面からの助成金がいただけることとなったことを喜ぶたいと思います。





「和爾の里を巡る」

実施日 6月2日(土) 曇り蒸し暑い
AM10時JR櫛本駅集合 参加者20名、
(当行事は3月31日例会として企画、雨天で中止となったため、歴史文化クラブの協力により今回実施したものです)

(担当世話役：川井秀夫、水本遼真)

10:20頃「歌塚、柿本寺跡、和爾下神社」歌聖「柿本人麻呂歌塚」に到着、周りの木陰で、川井顧問による「和爾豪族と人麻呂、その時代背景について」の講義を聞き、同行の前帝塚山大学教授 岩本先生から専門的補足説明も聞かせていただいた。



11時過ぎに次の「赤土山古墳」に向かう、発掘模型展示物、説明板を見比べ付近を散策し昼食場所の白川ダムへと出発。



下りて高瀬川を南に渡り川沿いを上流へ向かい、途中で名阪国道沿いに出て、黙々と歩くこと約30分、12時過ぎに到着する。



湖畔やダムを渡る風に当たりながら、東屋で昼食。全員で記念写真を撮る。

13時出発、暑い中北に向かって農免道を歩く、途中から西に向かって村道に入り畑の中の「六地蔵」を見学。



14時前「和爾坐赤坂比古神社」に到着、早々に神殿で祈りをささげ、集落の下り坂道を南に下り、14時過ぎ「櫛本高塚古墳公園」に着き、ここで川井顧問と古墳の研究者の岩本先生から配布資料による詳しい説明を聞く。



この公園は南の「東大寺山古墳群」(古くこの辺りは東大寺の寺領)と尾根続きになっていますが、今回はそちらの方は見学しなかった。

15時前に現地公園にて解散。本日の歩行距離は、推定12kmでした。(文責 水本)

こもりく

「～隠口の初瀬街道を歩く～」

『大神神社から長谷寺へ』

6月12日(火)10時10分三輪駅集合。雨で流れた行事の1年振りの実施。『午前中30%、午後60%』の降水確率。8時過ぎに小雨が降り、今年も駄目かと思いつつ集合場所へ。熱心な参加者が15名集合！行ける所まで行こうと出発しました。

コースは大神神社→海石榴市→玉列神社→白山神社→十二柱神社→長谷寺で、“ウォーキング”に“歴史文化”を加味してみました。

『見頃・無料』の案内で急遽、ピンクの笹ゆりが斜面あちこちに咲いている大神神社のささゆり園を散策しました。平成5年に発足した『笹ゆり奉仕団』の皆さんのご苦勞が今実っているとのこと。

ここを出る頃には傘が必要になってきました。山の辺の道を通して10代崇神天皇宮跡地・金屋の石仏・海石榴市(つばいち)観音を見て初瀬川に出ました。仏教伝来の地・遣隋使帰国時の出迎えの地として伝えられる所です。参加者がお互いに持ち合わせの知識を披露し合いながら、交通の要衝の地としての当時の賑やかな風景を思い描いたりしました。「ところで、当時の川の水量はそんなに多かったのだろうか？」単純な疑問ですが…。

椿1万本を植えた椿山を横に見て、雨が少し強くなった道を進み、正午に玉列(たまつら)神社に着きました。



(▲玉列神社にて)

ここは初瀬谷最古の神社で、大神神社の摂社です。昔から『玉椿大明神』とも称されて

おり、境内の庭には500本の椿が植えられていました。雨を避けて、境内の奉納演舞場の床や軒先に座って昼食を摂りました。なお、この神社の神宮寺であった慈恩寺(今は阿弥陀堂だけですが…)には樹齢800年のケヤキが若葉をしっかりと出していました。

昼食後は、春日神社を通り過ぎ、21代雄略天皇宮跡と伝承される黒崎地区の白山神社に進みました。ここには雄略天皇の歌碑や万葉集發耀讚仰碑(万葉集の最初の歌は天皇がこの地で歌った恋歌とされています。)が建っていました。ここで天皇の人柄・行いなどについての話題提供があり、場は大いに盛り上がりました。

雨に加えて風も出てきて、皆の足は自然と早くなり、十二柱神社には予定より大分早く到着しました。この付近は『出雲』の集落といわれますが、これは11代垂仁天皇の時代に野見宿弥が殉死の代わりに埴輪を造ることを提案して、故郷の出雲の国から連れてきた職人達が住み着いたことから起こった地名です。この埴輪作り技術が今も『出雲人形』に受け継がれています。この神社には野見宿弥を祭る五輪塔があり、また四人の力士で担いでいる珍しい狛犬もあります。また境内には25代武烈天皇宮跡の石碑も建っていました。(▼野見宿弥の五輪塔前で)



小雨の中、最後の目的地である長谷寺に向って更に早足で歩き出した。2時近くに長谷寺と近鉄長谷寺駅への分岐点に到着、ここで話し合いを行い解散となり、長谷寺に参拝する人と反省会を行うメンバーとの二手に分かれました。

なお『初瀬街道』はこの先、長谷寺、榛原、名張、青山を経て津に向かい北からの『伊勢街道』と合流して伊勢神宮に向います。

今回歩いた距離は約9Kmでしたが、大和王朝初期(10～25代)の話題が多い例会となりました。(文責：森英雄)

校庭観察会in育英小学校

5月23日(水)1年生と2年生の「生活」の授業として実施しました。担任の先生の、「もっと自然遊びを覚えてほしい。植物の実物に接してもっと親しみを感じてほしい。」との思いに応えられるような、内容を考えました。

1年生は、

- ①カタバミでの10円磨き、
- ②字がかけるアオキの葉っぱ、
- ③匂いのある葉のいろいろ、
- ④ヤエムグラのワッペン、
- ⑤シロツメクサの花の数、を取り上げ、

工作は小枝を使った「モックン」を作りました。カタバミの10円磨きに夢中になるなど、子どもたちは、「楽しかった。」と喜んでくれました。



2年生は①フキの葉が昔何に使われたか、②赤い実がなるクロガネモチの葉巻笛に挑戦、③匂いのある葉のいろいろ、④タイサンボクの大きな葉っぱ、⑤草いくつ、⑥不思議な散歩(ネイチャーゲーム)を内容としました。中でも鏡を見ながら歩く「不思議な散歩」は大変な人気で、担任の先生も初体験を楽しんでいました。



観察会の後、校庭にある草花の押し花を使って「葉」を作りました。スタッフ全員が、

100以上の押し花を作って持参しました。苦労して作った押し花ですが、子どもたちが「葉」に造る時間は20分、あっという間に終了です。それでも子どもたちの笑顔に、苦労を忘れたひとときでした。(平岡久美 記)

自然観察会in佐保台小学校

6月13日(水)、佐保台小学校で「自然となかよくなろう」をテーマに校庭の自然観察会を実施しました。



低学年の子どもたちを中心に42名が参加、学年ごとに8つの班に分かれて、大会スタッフがリーダーとなり、それぞれ1番目の観察ポイントに出発。

不思議な葉っぱスイバの葉で10円玉磨き、この頃あまり見かけなくなったカタツムリを間近で観察、草むらに輪を作りその中でちがった花や草をみんなで見つけ、その数を数える「草はいくつ見つかるかな?」、ある範囲に隠された人工の物を探し出す「虫のかくれんぼ」のゲーム、また、カラスノエンドウの実でピーピー笛に挑戦と楽しい観察会になったと思います。

自然観察を終えたあと、簡単な自然工作としてタイサンボクの葉っぱを使ったお面を作りました。



キツネ、ネコ、イヌなど目のつけ方、ヒゲの長さ、耳の大きさなどで顔の

表情にもいろいろあり、またお魚を作ったことももいて、楽しい工作となりました。

工作にあてる時間が少なく、個性あふれる作品をみんなに披露できればよかったのにと残念な思いもあります。子どもたちは自分で一生懸命につくったお面をスイバで磨いたピカピカの10円玉といっしょにだいじそうに持ち帰りました。(高本実男 記)

自然教室チーム便り

Monthly Repo. ならやま

5/24 (木) 晴れ 46人+2人

里山は27地区の整備は順調。ナス・ピーマンの生育も順調で支柱を整備。彩の森の伐採木の粉碎に頑張っていたチップパー機が原因不明の病気でダウン。機械の医者(技術者)の診断を受けたところ、ヒューズがケースの蓋ごとなくなっているとのこと。手分けして探したが見つからず本日の仕事はお終い。そば畑の耕作準備が始まった。

夏～秋に咲く草花の移植・植え替えが忙しい。田植えの準備。



会員から大きなアサリ貝の美味しい味噌汁の差し入れがあり、みんなで舌鼓をうつ。

5/29 (火) 曇り一時雨 5人+2人

5月31日の佐保台小学校5年生の田植え体験に向けて水田の準備に追い込み。

シニア自然大学校・水生生物課によるビオトープ池の生物調査が実施された。

5/31 (木) 晴れ 53人+3人

27地区の基礎整備完了。林地内のコクラン群生地 of 囲い込みも完了。ギボウシ等の日陰植物群落が除草されて目立つ存在となった。

佐保台小学校5年生13人による田植え。みんな初めての作業であったが、学校の授業よりも楽しいと喜んでた。

チップパー作業の見学に奈良県、生駒市から職員の見学があった。

6/7 (木) 晴れ 53人+10人

参加者全員による一斉作業で佐保自然の森の除草を実施。伸びていた雑草が刈り取られみるみるうちに綺麗になった。



会員による田植えを実施。当会の早乙女さんを始め、男性会員も加わり初めての田植えを楽しんだ。

近畿大学からニッポンバラタナゴの里親委嘱が行われ、10匹のバラタナゴが新池に放流された。3ヵ月後の増殖が期待される。

冷たいシソジュースのサービスが始まった。

6/10 (日) 曇り 8人+26人

佐保台小学校の5年生とその保護者による里山遊び。当会からは安全確保のため、地元の会員が参加。

6/14 (木) 晴れ 50人+1人

佐保の森、草刈り作業完了。チップパー機は故障のため粉碎作業は中止。サトイモ・サツマイモが雑草と縄張り争い中のため、サツマイモに応援。

ビオトープ池での生物調査、水質浄化のため、アサザ、空心菜の植え付け。

会員から差し入れのあった柿の葉寿司を美味しくいただく。

6/15 (金) 雨、参加者：10人

ホテル鑑賞。夕刻より雨が降り出したが、12～13匹、ぴかぴか光るのが見られて満足。



佐保台元気っ子 田植え体験!

「ならやま」の水田は、南側は「佐保台小ファーム」、北側は会員用に整備し、昨年の約2倍の面積に拡幅しました。

5月31日、佐保台小学校5年1組の児童13名が、植え方について説明を受けた後、田植実習を体験しました。おそろおそろ田んぼに入ると、始めのうちこそ泥の感触に「気持ち悪ーい」を連発したり、泥に足をとられて危うく転げそうになる子もいましたが、徐々に慣れて楽しそうに苗を植えていきました。この日は天候にも恵まれ、1人当たり約80株、全員で1,200株ほどの苗を、40分余りの時間で手際よく植え付けてくれました。寄せてくれた感想文です。

I：今までに何回か経験

していましたが、やり方が分かったので、おばあちゃんのお手伝いができると思います。



O：こんな近くに田んぼがあるなんて驚きました。田んぼに入った時どろっとして、最初は気持ち悪かったけど、びちゃびちゃ感が面白かった。

O：最初の苗はバランスが取れていなかったけれど、苗の並び方を教えてもらい次第にバランスが良くなりました。

T：会の皆様がクラスみんなに田植えや苗の植え方を教えてくださって嬉しかったです。苗を土の中に入れてやる時の感触がとても気持ち良かったです。

N：一番お礼を言いたいのは、水田の準備や丁寧に田植えの仕方を教えてもらったことです。

N：会の皆さんは優しい人たちでした。一番楽しみにしていたのは、田んぼに入る時の感触でした。テレビの取材もあり緊張しましたが、番組を見て嬉しかったです。

童らの燥ぎ通して田植えの子

H：僕は少しだけ経験がありますが、わかりやすい説明で、やりやすかったです。

M：教えてもらったとおりにすると、だんだん上手く植えることができ、楽しかったです。秋が待ち遠しいです。苗にはもっともっと大きくなって欲しいです。7月の観察が楽しみです。

W：普段当たり前のように食べているお米は、沢山の人が大事に育ててくれていることがわかりました。

W：どんどん育って立派なお米になって欲しいです。

I：普段食べているお米は、植えるのだけでも大変なのがよくわかりました。育てている人は、工夫をしてお米を精一杯育てているのがわかりました。

K：田んぼの土は、あんなにやわらかくて上の方はあったかいけど、下の方は冷たいということが初めてわかりました。きちょうな体験をすることができ、ありがとうございました。

子ども達の感想文と礼状に添えて、担任の西谷先生からも、「どの子も、これからの学習を、とても楽しみにしているようです。」とのメッセージを寄せていただきました。

約半年間の水稻栽培体験をきっかけにして、子ども達が農業に対して興味関心を抱き、食の安全や食料自給率の問題などの発展学習に、取り組んでくれると期待しています。



(文責・鈴木)

里山の今

自然観察レポート①

ならやま花だより

山中笙子

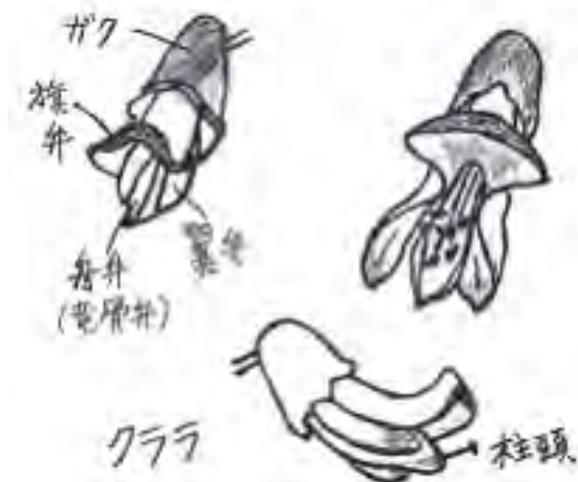
6/14(木) 恵みの雨を得て里山は、木の葉が鮮やかさを増し、緑陰から見上げると空の青と緑のコントラストがとてもきれいです。

花壇では、名前通りのウマノスズクサの花が咲き、今年も白黒まだら模様のジャコウアゲハの幼虫がいました。食事の葉は足りるかな？

マメ科のミヤコグサも目立つ黄色い花を、クララは黄白色の花を茎先にびっしりと付けていました。

図鑑には、マメ科の植物は、虫が舟弁(花びらが舟の舳先の形をしている)に止まると先から花粉があふれ出て、その後外に伸びてきた雌しべの柱頭に虫が触り受粉するミヤコグサ、また、虫が翼弁と舟弁に触れると雄しべと雌しべが飛び出して虫に触れ受粉するエニシダとありました。

そこでクララの花の舟弁を指で押すと雄しべと雌しべが飛び出しました。後者のタイプなんでしょうか、うまく出来ているものです。目立つ旗の様な花びらが虫の関心を引くのでしょう。



クララは阿蘇地域に多く自生していますが全国的には減少しています。

このクララのみを食草にしているのが蝶のオオルリシジミ(絶滅危惧種)で花穂に産卵するそうです。他にルリシジミやクマンバチ、キアゲハも来るようです。里山のクララにもたくさんの虫が集まってくると良いですね。

名前の由来はクララの根茎を噛むとクラクラするほど苦いことから。

ある虫の好物であっても、また以前は農業用の殺虫剤として利用されていても、放牧地の牛も食べませんし、人間にとっても全草有毒植物です。

【草花】

アカザ、オニノゲシ、ハナイバナ、クララ、ヒメコバンソウ、ヒメジョオン、ギシギシ、コモチマンネングサ、ミヤコグサ、コナスビ、ヘラオオバコ、シロツメグサ、ドクダミ、ツルアリドオシ、オカタツナミソウ、ツユクサ、ウラジロチチコグサ、チチコグサモドキ

【木の花】

アジサイ、シモツケ、イヌツゲ、ソヨゴ、ネジキ、クリ、フジウツギ、ナンテン

【花壇】

時計草、ニゲラ、タチアオイ、ホタルブクロ、ウマノスズクサ、カワラナデシコ、キキョウ、ノカンゾウ、マリーゴールド

【ビオトープ】

ショウブ、ハナショウブ(青色)、イ、ガマ

ならやま鳥だより

小田 久美子

菊川さん田中さんと3人で11種47羽を確認しました。今月のトピックスは「ウスタビガ」が繭の蓋をする所が見られました。冬落ちていた繭はよく見かけますが中身が無く色褪せています。新しい繭がとても綺麗なことにとても感動しました。

【7月のバードウォッチング】➡7/9(月)です。

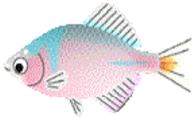
里山の今

自然観察レポ②

* ペタキン日記 *

羽尻 崇

里親



第一号

認定証授与される!



6 / 5 (火), 6 (水)

6月7日のペタキン放流会に向けて、網で集中的にアメリカザリガニを駆除。10cm以上の大物も入れて2日間で20匹近く捕獲。この外来種は、田んぼの畔に穴をあけたり、稲を切り取ったりするとある。現に移植した葦が何本も切り取られていた。

6 / 7 (木) 晴れ

午後2時より、ペタキンの放流会が行われた。近畿大学の北川先生よりこの会の藤田会長に「ニッポンバラタナゴの里親認定証」が授与され、オス5匹・メス5匹のペタキンが新池に放流された。オスはバラ色の婚姻色になり、メスは産卵管が出ていた。

昨年8月、阿部前会長よりペ里親になってはどうかとの話が持ち込まれ、10月に里親

を引き受ける決定をしてから、新池造りの冬場での各種の作業を経て、ようやくこの日を迎えることとなった。それに関わっていただいた方々に深く感謝申し上げます。

6 / 9 (土) 曇時々雨 朝9時の気温22.1℃、水温18.9℃、pH 7.2。放流日と昨日の2日間ザリガニの駆除をやってなかったので気になって、ならやまに行ってみた。水の濁りが少しあって、ペタキンの姿は全く見えなかった。スルメを餌にしてザリガニ釣りを始めたが、何と大きなザリガニ5匹、小さなザリガニ5匹を確保した。放流前にあれほど駆除したのに!

なぜ、駆除しても少なくならないのか。原因をあれこれ考えての結論。旧池の泥を掻き出した時に、旧池の外に出たザリガニが夜中に陸地を這って新池の横のネットの下の隙間から入り込んできた。

周りからの新池への侵入阻止対策は、入水・排水溝を金網で、池の周囲をネットでブロックはしていたが、それが不十分だったのだ。最悪、ペタキンはザリガニにやられたかもしれないが、逃げた1匹の金魚がいるということから、石の隙間でひっそりと隠れているかもしれない。

6 / 10 (日) 以降

ザリガニの侵入阻止対策を万全にして、時間が取れる時は、ザリガニ採りをすることにした。今回失敗したにしても、この活動は今後も気長にやっていく必要があるのだ。



やさしい昆虫講座

21

木村 裕

夕焼け小焼けの
赤トンボ、負わ・・・

トンボと言えば
子供の頃からのお
馴染みの虫です
が、何種類くらい

ご存知ですか？

シオカラトンボ、アカトンボ、ギンヤンマ、
オニヤンマ、イトトンボと言ったところでは
ようか？

世界では約5000種類知られていますが、日
本には約180種います。最も大きいのはオニヤ
ンマで体の長さが10 cm前後あります。黒い体
に黄色の虎縞模様があり、溪流や道の上を「我
が縄張り」とばかりに肩を怒らせて低空で行
ったり来たりしています。

逆に最も小さいのは長さが約2 cmのハッチ
ョウトンボです。ミズゴケの生えているよう
なきれいな清水が流れ込むような湿地の水た
まりでヤゴが育ちます。生息環境の条件が厳
しいので年々少なくなっており、奈良県では
絶滅危惧種となっています。

皆様に
最もおな
じみのト
ンボはシ
オカラト
ンボでし
ょう。



▲シオカラトンボのヤゴ

池底に泥が溜まっているような少々汚い水
でも育つことができ、ならやまのビオトープ
池でもヤゴが見つかっています。また学校の
プールでもごく普通に見られます。

唱歌に出てくるアカトンボはナツアカネか
アキアカネだと思えます。学問的にはアカト
ンボはありません。体色が赤色、赤っぽいト
ンボの総称で、20種くらい含まれています。

ならやまの池にもこの両種はおります。アキ
アカネは6～7月頃に発生しますが、すぐに荷物
を纏めて山へ引越し、暑さが通りすぎて過ぎし
やすくなった9～10月頃に再び戻って来て、水
田跡地の泥の中に産卵します。一方ナツアカネ
は7月頃発生し、移動はせず夏でも姿が見られ
ます。この両種は大きさや体色がよく似ており、
体の側面の模様で判別しますが飛んでいる状態
では難しいです。特に黄色っぽいメスでは区別
が難しいです。しかしオスでは、ナツアカネは
下戸がお酒を飲んだように頭から尾っぽまで全
身真っ赤になりますが、アキアカネは胴体のみ
が赤くなります。

ナツアカネやアキアカネによく似ていて羽根
の先が黒くなっているのは、リスアカネかノシ
メトンボでしょう（よく似た種類が数種おりま
す）。

7月にならやまのベースキャンプの上を群れ
飛んでいる羽根の黒いトンボはチョウトンボで
す。池の周りにいる小さくて細長いのはイトト
ンボで幼虫も非常に細長いヤゴで、ならやまの
池にもたくさんいます。

質問-1：トンボの生殖器がどこにあるかわかり
ますか？

質問-2：ヤゴは何を食べますか？

トンボの生殖器は、メスでは尾端に、オスで
は長い胴体の付け根にあります。一見交尾器の
ように見えるオスの尾端はメスの頭をはさむた
めのものです。だから2匹連なって飛んでいる
ペアは前がオスで後ろがメスです。

ヤゴの食べ物は、主としてミジンコ、ユスリ
カの幼虫、イトミミズです。ザリガニと喧嘩を
すればたぶん負けるでしょう。



◀
ノシメトンボ
の成虫



◆◆◆あなたの身近にも◆◆◆

” シジュウカラ ” が

シジュウカラの囀りは「ツッピー ツッピー」「ツッピン! ツッピン!」。人家周辺や公園などにも一年中住み付いていて、餌台にもよくやって来るので身近に観察出来る鳥です。アクロバットのように枝にぶら下がってエサを探したり、両足で種子などをしっかり枝に押さえつけ、コンコンたたいて割って食べたり活発に行動する姿がとても可愛いんです。繁殖期には番で縄張りを作って生活していますが、夜はそれぞれのシングルベットで眠るそうです。オスがメスの埒までエスコートし、メスが埒に入るのを確認してから自分の埒に入るのだ

そうです。紳士ですねえ～。

私が鳥見を始めた頃、植木鉢でも巣を作ると知り、置いてみたけど振られてしまってガッカリしたことを懐かしく思い出します。「郵便受けを乗っ取られ別の箱を用意しました」(同じく投書箱も)とか、「トラックの排気パイプに巣作りされた」と羨ましい映像を見ることはありますが、我が家の鳥小屋は何度新調しても入ってく



れません。ここ何年か「ツッピー ツッピー」と悪声だけどもテモテの個体があります。チャッカリ、ヒマワリだけ失敬していく憎い子です。胸の前の黒い縦縞の太いのがオス、細いのがメスと雌雄が判り易い鳥でもあります。

地 ★ (斑鳩) 5月23日朝竜田川でのことです。今日はゴム堰が堰き止められていて水がなく底が見えます。何かいないかと探すと、カルガモがいます。でも??なんだかしっぽが長いのです。双眼鏡でよく見ると、ヒナがくっついてます。近づいてよくよく数えると11羽のヒナでした。ハシブトガラスがちょっかいをかけていたので、お母さんにみんなぴったり体を寄せていたのです。

カラスがいなくなると、みんなリラックスして、そこに敷き詰められているブロックのへこみで、1羽1羽がマイプールの様に泳いでいました。

域 3日後の26日、ヒナたちとお母さんを見つめました。その後は見なかったのですが、6月3日に大和川でその子たちかなと思える親子に出会いました。でも、ヒナは9羽でした。何羽が大人になって行くのかなあと考えさせられました。(勝田)



情

報

美味旬感

ミゾソバ

ならやまフィールドの湿地帯に沢山出てくるミゾソバ。タデ科の一年草ですが、毎年群生しています。私達の幼い時の呼び名はコンペイトウの花、と言えお分かりでしょう。若芽や葉を摘んでいただきます。摘む時には茎にするどい棘が下向きについていますので、気をつけてください。

塩茹でして、水にさらしてアクを抜きます。棘は取りますが、若芽のやわらかい棘は塩をふってたたくとやわらかくなります。

おひたし、佃煮、油いため、天ぷら、卵とじなど単品で使っても勿論いいですが、少し歯ごたえのあるものと一緒に合わせた方が引き立つでしょう。エリンギなど、さっと焼いて細かく裂き、一緒にごま味噌和えなど如何ですか。やさしい味のものなら何でもOKです。新芽は洗って、そのままサラダに混ぜてもいいです。

自然をちよっぴりいただきます!

西谷 範子

もう少しすると金平糖に似たピンク色のかわいい花が咲きます。花だけ摘み取ってさっと茹で、甘酢にひたしておきます。料理の飾りにしたり、サラダに乗せたりして楽しめます。

注意する事はツリフネソウも同じような場所に生えています。こちらは毒草ですからよく見てください。但し、ならやまフィールドにはツリフネソウは今のところ見当たりません。

薬草としても止血、鎮痛作用があるといわれ、茎や葉をよくもんで患部につけます。



奈良学 & 難読野菜名クイズ

【問1】 写真は、ある寺院の東門で、現存する



本堂は国宝に指定されており、旧講堂の位置に建てられています。但し、創建当時のものではなく、鎌倉時代に再建されたものです。そして、堂内には、高さ205.6cmの瞑想的な表情と優雅な身のこなしで、多くの拝観者を魅了してきた像が安置されています。この寺院の名称をお答えください。

【問2】 次の漢字で書かれた野菜名の読み方を、指定された文字数のひらがなでお答えください。

- ① 高菘 (3文字) ② 生薑 (4文字)
- ③ 天糸瓜 (3文字)

◆全問正解の方(1名)に、奥飛騨名産の伝統野菜を進呈します。(正解者多数の場合は厳正な抽選により決定)

◆当選者のお名前は、[ネイチャーなら] 8月号に掲載します。

◆応募方法は、メール(編集チーム・鈴木宛)でお願いします。

※ 応募締切は、7月5日・午後8時 ※

豌豆の天までのぼれ蔓の先 八木順一

豆畑の蔓が伸びる。童話「ジャックと豆の木」を思わせる。メルヘン的な写生句として面白い。

初田植え子らおとととと泥を劔ね

鈴木未一

佐保台の子供達。初体験に真剣そのもの。泥田に転倒者もなくめでたし。擬態語が全てを語る。

笹百合は八方美人ね咲きやうは

井戸八穂子

六月例会。三輪の群生地鑑賞。どこから観ても美しい。口語調のリズムが女性的な柔らかさを醸す。作者もきつと美人だろう。

ふんぶんへんべん
粉粉片片チップマシンの汗を拭く

川井秀夫

里山の一景。チップマシンの威力。枝木が一瞬にして微塵となる快感。マシンと人との葛藤。マシンを扱う優しい男たち。



自然俳句

監修 川井秀夫

おくつきの幾つを越へし薄暑かな

川井秀夫

和爾の里は正に奥津城(おくつきとも 墓所のこと)の感。古代の眠れる王たちの雄叫びが聞こえる様だ。

海柘榴市の野路のこ仏梅雨濡れに

川井秀夫

六月例会。三輪から初瀬街道に行く。夏草に埋もれた野仏が雨に濡れる。お伊勢参りの行き倒れの霊魂が眠る。

螢火の無尽に流れペンライト 鈴木未一

里山夜のパトロール。幻想的な螢に遭遇。作者の感性や佳し。





さみだれに匂うササユリの花しおらしく



谷川 萬太郎

- (1) さみだれにその身を隠しひとしきり啼き濡れる雨蛙の切なき声に
三輪の山里につつましく咲くささゆりの淡いピンクの笑顔が曇る
いつのまにかその頬を伝う玉露のしずくがいじらしく小さな胸が痛む
冷えたあなたのその身体を優しさでそっとつつんであげたかった
降りしきる雨の中で君に逢えた事の嬉しさに素直になれた私が出た
- (2) 去りゆく季節の足跡は遥かに 素敵なしと時を有難うと伝えたかった
過ぎ行く時の流れは早くて貴方に贈る別れの言葉さえもう届かない
忘れがたき故郷のあなたへの慕情に酔いしれて心なしか後髪引かれ
ときめきの心はいつしか小さな星になり生まれ変わる季節の方舟に
やがてあなたの行く先を照らす明るい光と影があなたを見送るでしょう



「望み」



竹本雅昭



販売部長：さあさあ買って買って、
新鮮野菜。どれも¥1000円。
サラダ菜：人々は私達をグルッと囲んで
昼食中。どの人に買ってもらお
うかな。
えんどう豆：僕は豆ご飯や豆とじの大好
きな人を希望するな。
サラダ菜：私は朝の食卓で、窓から薄緑
の光が届き優しいメンデルスゾ
ーンのピアノ曲が流れる中で…
そんな感じがいいな。
大 根：私も私もそんな感じがいいな。
サラダ菜：あなたは和食向きだから、お
かずの足りない時の具沢山味噌
汁とか、「わが輩は猫である」

に出てくるジアスターゼとしての、
おろし大根に縮緬雑魚少々と醤油で
コーディネートね。

大 根：とれとれだし、もうちょっと格好良く
……なんかな～い。

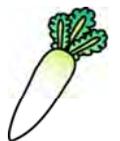
サラダ菜：天ぷらの横におろしの盛り付けとか、
刺身の妻なんかにとって上品よ。どう？

大 根：それがええわ、そうしてもらおう。

サラダ菜：私も新玉葱やラディッシュさんとドレ
ッシングでコーディネート、そして挽
き立てのコーヒーに焼きたてのトース
トさんと食してもらいたいわね。

ブルーシート：今日もチャリン、チャリンとコイン
で重くなった箱だけが残った。
さあさあ店仕舞。

販売部長：皆さん有り難う。完売完売！



青垣春秋

和爾考 ～和爾一族は海神族であった～

歴史文化クラブ 川井秀夫

大和王朝成立の過程にあって、弥生時代中・後期から古墳時代に至る争乱の時代には、神話を含め、中国の魏志倭人伝・日本の記紀に数々の伝承物語が伝えられている。近時では先学の士が多く文献を提供され、古事記編纂1300年を機に、改めて世間の耳目を集めている。

今回、謎の豪族、和爾(ワニ)氏の本拠地、天理市北部の和爾の里を巡り、上古のワニ族の伝承を遺跡を通し実感すると共に、新たな感慨とロマンの謎に一步踏み込む事が出来た。

この時代(2世紀～6世紀)、特に世紀初頭から3世紀に亙るワニ氏の勢威は倭(大和の呼び名は奈良朝以降)一国の霸王として君臨し、歴代の大王(のちの天皇)の後妃をその一族から輩出しながら、政治的な表舞台に立つ事はなかったと言われている。

数ある系図(比定されていない)を辿ると、ワニ氏の始祖は、第五代 孝昭天皇の皇子・天足彦国押人(アマタラシヒコクニオシヒト)とある。

皆さんご存知の卑弥呼は、この方の妻であり、子は押媛(孝安天皇の妃)と和爾日子押人命と記す。

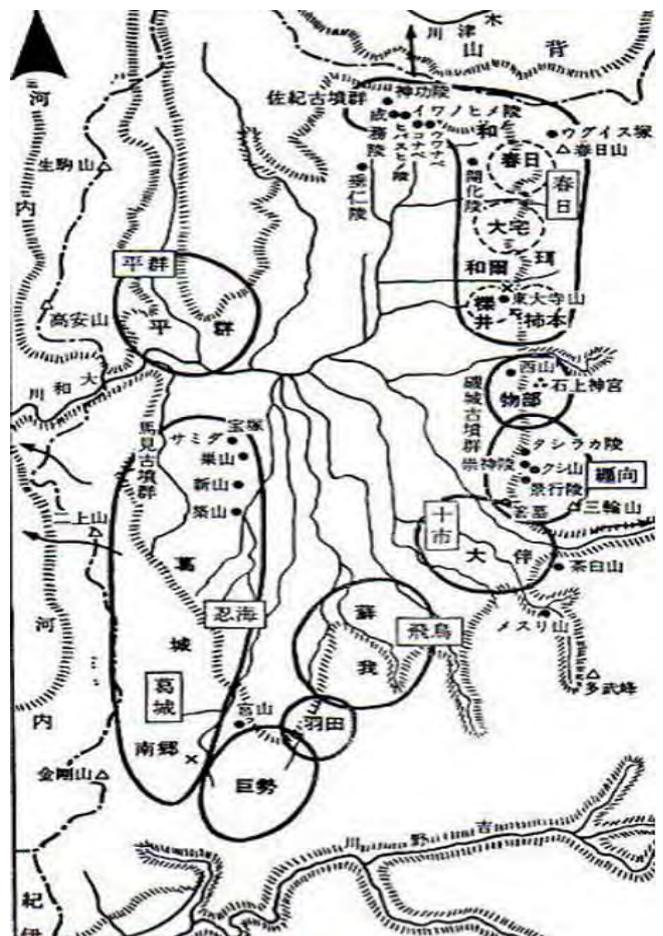
ワニ氏は2～4世紀を頂点として、のち春日氏に属し姓氏も分岐して、継体朝には歴史の中から消滅する。系譜には歌人柿本人麻呂、神功皇后韓地出兵に参加した建熊王の名が見られる。また分岐した姓氏の中で、書家小野道風、遣唐使の小野妹子、後世に名を残した藤原氏、室町・戦国の武将のなかにも血縁者が多く存在する。

ワニ族はどこから来たのか。中国江南(越の国)から韓地南部を経て、対馬から北九州、瀬戸内を通り、倭(わ)の内陸に定住したものと思われる。

ワニとは「鱧」であり、南方の竜蛇信仰の爬虫類を祖神とした海神族であった。当時の河川津などの管掌、航行の安全、漁労水運など海事に尽くしたとされる。

陸地においては、その勢威を東は美濃・尾張・駿河辺りまで、北へは山城・近江・若狭・越前と。西国へは播磨・丹波三国・備前・出雲・石見と広大な領域を支配し、各地の地名・神社・遺跡に名をとどめている。普遍的な姓氏を含め、血縁の日本民族が広く分布し、現世の我々もそのルーツを受け継いでいるのかも知れない。

古代はロマンに満ちた世界である。確証のない謎に包まれ、人々の想像力を掻き立てる。荒唐無稽な神話の真実を探る面白さ、家族愛・夫婦愛・豪族の角逐、万葉歌の恋の相聞、今も変わらぬ人間の業と欲望、壮大な人々のエネルギーが、この国の形を生み出してゆく。現代の日本人が忘れ去ったものを明日の教訓として、今一度噛み締めたいと思わずには居られない。
頑張れニッポン。



権原考古研究所「蘇我氏の実像」より

▲ 奈良盆地の豪族

ならやま景観整備 & 情報BOX

◆ 活動予定日

7月	5日(木)	12日(木)	19日(木)
8月	2日(木)	9日(木)	16日(木)
	23日(木)	30日(木)	

◆場所：奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林
[ならやま会館前道路（ならやま大通り）の南側に広がる里山林地]

◆集合：現地ベースキャンプ地・am 9:00

◆終了予定：pm 3:00

◆アクセス：

- ① JR平城山駅下車、東口から南へ徒歩10分
 - ② 近鉄奈良駅・バス13番乗り場
8:22発、高の原行き（平日）
 - ③ 近鉄高の原駅・バス1番乗り場
8:22発 JR奈良駅行き（平日）
- ②③とも「佐保台西口」又は「平城大橋」で下車 徒歩7分



◆携行品など：弁当、飲み物、軍手
(作業用具は現地で用意)

◆環境保護のため、お椀、箸、コップなどは各自ご持参下さい。



◆活動内容

- ・里山整備、環境整備、花木植栽等の景観形成、植生調査、椎茸作り
- ・復元した田畑での「旬の野菜、健康野菜の有機栽培」堆肥作り、土作り
- ・「市街地にある里山」を体験する各種イベント、学校授業「田圃の教室」
- ・広域里山パトロール（保全、ナラ枯れの点検、生物調査など）

◆連絡先：木村 裕



ならやま バードウォッチング

◇日時：7月9日(月)am7:00集合
※7月～8月は夏時間です。※

◆集合場所：ならやま駐車場

◇小雨決行：判断の難しい時は
担当者に・・・。

◆連絡先：小田 菊川

HP改訂 !

7月よりHPが リニューアル

7月よりHPの運用を会報誌・編集チームが担当します。今まで境様個人のサーバーを使用していた運用をお願いするなど、大変ご尽力をいただきました。これからは、有料サーバーの使用に変更しました。皆様からのご意見、ご要望、ご提案等を参考に改良を加えたいと思います。そして、皆様方の交流の場になるように努めたいと考えています。新URLは下記の通りです。

<http://www.naranature.com/>

こだま

会報誌の「読後の感想」をお寄せいただきましたので、掲載させていただきます。

「奈良・人と自然の会」の活動が、会員の増加と共に活動の数も増え、内容も広がり、幅広く活動に参加できるようになりました。そこで必要になるのが、活動状況の情報の発信だと思います。「ネイチャーなら」の内容も、会員の活動状況などの報告も多くなり、良く分かるようになったと感じております。

寄稿文の中に挿絵、イラスト、写真等が、以前より多く見られる様に感じられ、楽しく読む事ができます。(ご意見をお寄せください。)



申し合わせ事項

ならやま環境整備活動や
野外行事は、前日pm7時前
のNHKTV天気予報で、降水確率が午前60%
以上の場合は中止になります!!

7月例会 『葛城氏の歴史を歩く』 ご案内！

奈良県の南西部の金剛・葛城・二上山と連なる山地の東山麓には、葛城川に沿って豊かな平地があります。ここには弥生時代から水田稲作が発達し、古墳時代の初期には、すでに大拠点集落が存在しました。ここで農業生産に従事し鴨神を祭っていたのが、後に鴨族といわれる人たちでした。

4世紀になると豪族「葛城氏」が現れ、経済力と武力を背景に、古代ヤマト政権と拮抗する実力を持つ集団となります。始祖の襲津彦は、将軍として朝鮮半島で指導的役割を果たします。その時連れ帰った帰化人たちは、

葛城の地に先進技術をもたらし繁栄を支えます。襲津彦の子の磐之媛命は、仁徳天皇の皇となり、履中・反正・允恭の三天皇を産みます。その後も、葛城一族から后を出し、天皇の外戚として権勢をふるったと想像されます。

5世紀後半、葛城円大臣が大王家の内部抗争に絡んで、雄略天皇と対立して亡ぼされ、以後、葛城氏は没落していきます。

今回は、これら古代葛城の史跡を訪ねて、古事記や日本書紀に記述された世界を想像してみたいと思います。

【担当：歴史文化クラブ

川井秀夫・森英雄・古川祐司】

コース&スケジュール

【酷暑の時期ですので、極力バスを利用し省エネで参ります。】

- ① 月日：7月10日(火)
- ② 集合場所&時刻：近鉄御所駅改札口前 am 9:30
- ③ 鴨都波神社へ移動 挨拶、コースの説明
コミュニティバスに乗車・近鉄御所駅発(10:15) ⇨ 森脇下車
- ④ 一言主神社 ⇨ 長柄小学校(遺跡) ⇨ 長柄神社
「葛城高宮」ゆかりの地を散策、徒歩にて室宮山古墳へ
- ⑤ 室宮山古墳(葛城襲津彦の墓?) 見学と説明 昼食
寺田橋バス停 13:24発 ⇨ 風の森下車 13:34 高鴨神社へ
- ⑥ 高鴨神社 見学と説明
徒歩にて かもきみの湯 着 15:00 解散
(かもきみの湯に入浴される方は、タオル・着替え等ご持参ください。)



かもきみの湯発 バス時刻表			
路線バス(八木行)	15:47	⇨	近鉄御所駅着 16:01
同	16:32	⇨	近鉄御所駅着 16:46
コミュニティバス	16:58	⇨	近鉄御所駅着 17:28 (西・外回り)

往路電車時刻表			
大和西大寺(急行)	8:21発	↓	阿部野橋(南大阪線)(準急) 8:24発
橿原神宮前(乗換)	8:55発	↓	
尺 度(乗換)	9:12発	↓	尺 度(乗換) 9:12発
近鉄御所	9:20着	↓	近鉄御所 9:20着

例会当日は簡単な配布物を準備しますが、より詳しい資料をご入用の方はメールにて事前にご請求下さい。 請求先 古川祐司 (メールアドレスは事務局にお尋ね下さい)

講座のご案内

自然教室チーム

インタープリテーション入門

- ◆7月9日(月)10時~15時(小雨決行)
- ◆集合場所と時間
10時・ならやまベースキャンプ

インタープリテーションとは「自然の不思議や魅力を楽しく、分かりやすく伝える活動」のことです。

自然教室チームは校庭の自然観察会を担当していますが、子どもたち楽しく、生き生きと自然の魅力伝えるために、インタープリテーションの手法を使用しています。

子どもたちと一緒に自然観察をするのも楽しそうだなと思われる方などを対象に、インタープリテーションを体験していただこうと、下記の通り『インタープリテーション入門講座』を開催いたします。どうぞ奮ってご参加ください。

- ◆対象ならびに募集人員： 20名
 - * 小学校の「校庭の自然観察」を児童と一緒にしてみたい方
 - * インタープリテーション活動に興味をお持ちの方
 - ◆内容:①インタープリテーションとは？
②スタッフによる実際の自然案内活動
③受講者による実習
 - * ならやまフィールドの中の幾つかのポイント(7~8程度)で。
 - * 小学生やファミリー、シニアなど、様々な対象層を想定して。
 - * どんな話し方で自然の不思議や魅力を伝えるか。
- といったことをお互いに実習します。
- ◆持参するもの:昼食、飲み物、メモ、雨具など
 - ◆申込み:7月4日(水)までにFAXまたはメールで申し込みをしてください。

倉田 晃

8月例会予告 『夏季自然研修会』

今年の8月例会「夏季自然研修会」は、「大阪市立自然史博物館」を訪ねます。同館主任学芸員の佐久間大輔先生に『里山はどう使われてきたかー利用の歴史から考える。』というテーマで講演をお願いします。併せて隣接する「長居植物園」の自然観察を行います。

佐久間先生は、植物と菌類の共生関係をご研究されており、里山についても民俗学と生態学の両面から迫る研究も試みられています。「里山の自然」など多数のご本も書いておられ、我が「ならやまフィールド」の自然の状況もよくご存知です。

「里山の整備」について、新しい視点からのお話をお聞きすることができるとおもいます。なら枯れ問題についても言及されます。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

大阪市立自然史博物館講演 & 長居植物園自然観察

- 日時； 8月29日(水) 10時~15時
- ◆場所；「長居植物園」内の「大阪市立自然史博物館」
(地下鉄御堂筋線「長居駅」3号出口園内 東へ800m)
- ◆集合；「長居植物園」「自然史博物館」入口
(正面ゲート前広場) am10:00
(通し入場料 300円)
- ◆スケジュール；
 - 10:00~12:00 長居植物園 自然観察
 - 12:00~12:45 昼食(植物園内木陰)
 - 13:00~14:15 講演
 - 14:20~15:00 自然史博物館見学
(「自然のしくみ」「自然の歴史」「人と自然の関わり」について展示)
- ◆担当 藤田秀憲
寺田 孝

平成24年・6月度 幹事会報告

日時：平成24年6月5日(火)
17:15~20:30

会場：中部公民館

出席者：幹事17名、顧問2名

案件：

- ① 会員数 136名
- ② 「山と森林の月間」協賛行事の実施について
- ③ 例会、自然教室、ならやま景観整備などの行事報告と確認
- ④ 会員名簿の管理について
- ⑤ 幹事会：毎月第1火曜日
17:15~19:15(従来通り)
- ⑥ その他

ペン画に寄せて

境 寛

飛鳥時代に建てられた寺院を、天平3年(731)に光明皇后により海龍王寺として、あらためて創建されました。嵐の中、唐より無事に帰国を果たした玄昉が、初代住持となったことから、遣唐使の航海安全祈願のお寺として有名です。創建当時から西金堂内に安置されている国宝五重小塔は、天平時代の建築技法を現在に伝えていることで知られています。

また、本尊の十一面観音は、鎌倉時代の作ですが、光明皇后が自ら刻まれた十一面観音像をもとに作られたと伝えられています。

◆◆訂正とお詫び◆◆

◆P13 自然俳句・第4句

(正) 記紀ありて売太の社の夏落葉

解説文(正) 初夏の日差しが・・・

◆P13 自然俳句・第6句

解説文(正) 茄子クラブ・・・

◆P17 ならやまバードウォッチング

(正) 6月11日(月) 以上の通り訂正します。

◆careless missのないように努めます。

編集後記

◆今年度に入り、【ならやま景観整備】の参加者が、大幅に増加してきました。5月31日に50人の大台を超え、以後も50人前後と大盛況です。BCも【緑陰広場】に拠点を移しました。ベンチに腰掛けると「緑風涼々」皆さんの表情が和んできます。

◆「ならやまの美味旬菜」を一度味わうと・・・これからは【紫蘇ジュース】のシーズンになります。乞うご期待!!!

◆6月号の【奈良学&難読野菜名】クイズに多数の方からご応募いただきました。

正解は、次のとおりです。

【問1】海龍王寺

【問2】昭和16年10月12日

【問3】①おくら ②にんにく ③ちよろぎ

正解者は、青木幸子・吉村さつき・坂東久平・小島武雄の皆さんでした。【問2】が難問であったようです。【宿讎(すくな)かぼちゃ】は、順調に成長しています。収穫時までお待ちください。「ならやま活動日」に、公開抽選を行います。(里山人)

奈良・人と自然の会

会長 藤田 秀 憲

Mail : narayama@nature.com

http://www.naranature.com



8月号の印刷・発送予定について

日時：平成24年7月27日(金) am9:00~

場所：奈良市ボランティアセンター

奈良市法蓮町1702-1 TEL0742-26-2270

※皆様方のご協力をお願いいたします。



会報誌【ネイチャーなら】編集チーム・代表

鈴木 末 一